

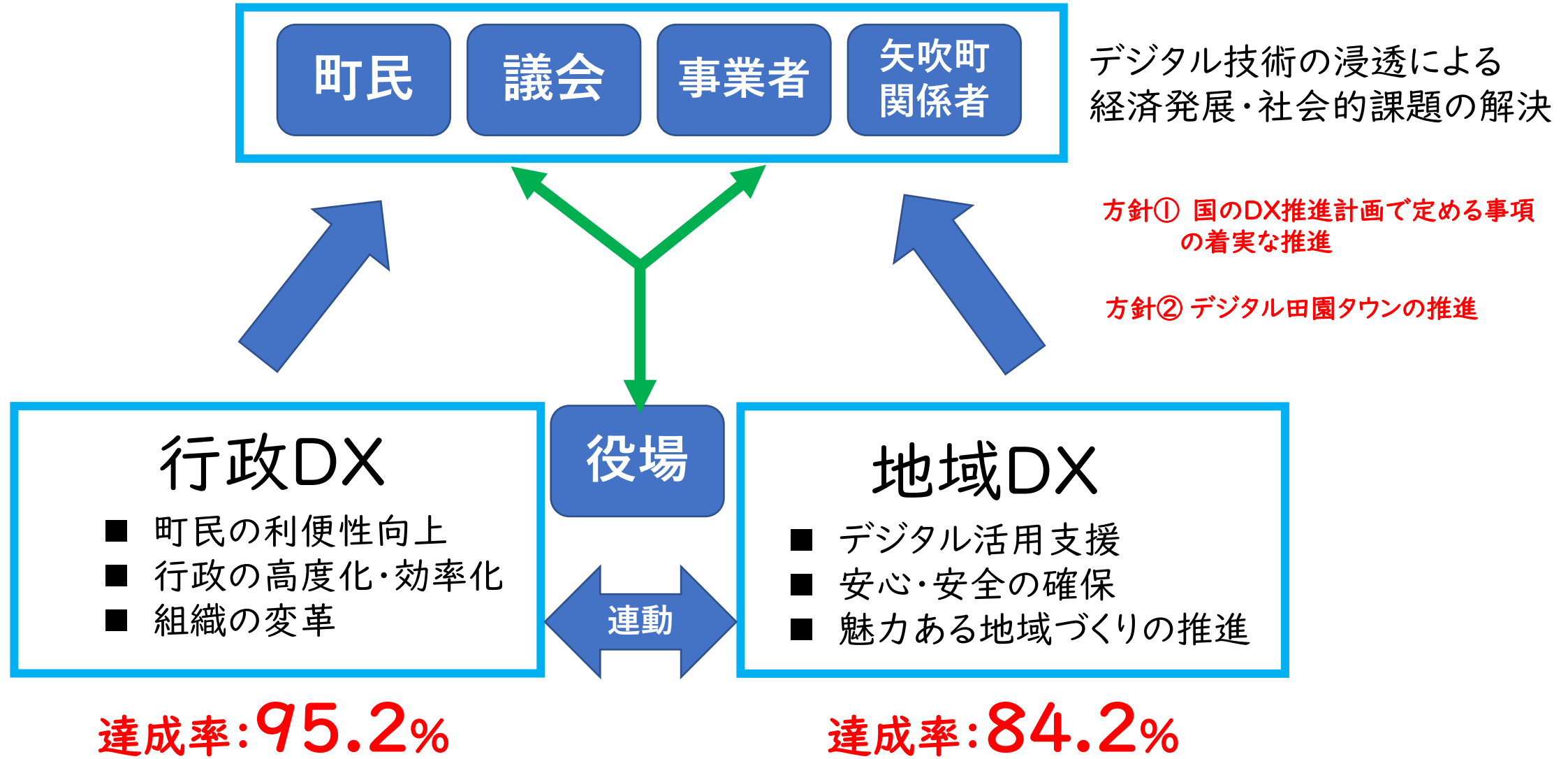
矢吹町

これまでのDX

ここからのDX

これまでのDX ～ 第1次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

Society 5.0 ～さわやかなデジタル田園タウン やぶき～



これまでのDX ～ 第1次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ①

- 行政手続のオンライン化：

子育て関係 13 手続、介護関係 11 手続のオンライン申請環境整備

- 内部業務の効率化：

システム内製化のツール (kintone) 導入により、業務改善推進の機運を醸成

- ペーパーレス化の推進：

議会関係資料閲覧用のタブレット端末 50 台を導入。議会と執行部で共同で利用

- キャッシュレス決済の拡張：

スマートフォン等やクレジットカードで公共料金の支払いが可能な環境整備

- 組織体制の強化 (デジタル部門、外部人材)：

デジタル専門部署 の創設、総務省地域活性化起業人制度の活用によりデジタル人材等を 5 名採用

これまでのDX ～ 第1次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ②

- 住民向けデジタルサービス導入:

町公式LINEアカウントの導入

子どもの地域活動(ライフログ)を電子的に証明する「地域デジタルコモンズサービス」の導入

スポーツ×デジタル振興プロジェクト推進により、「スポーツ・健康まちづくり優良自治体」の受賞

- 教育のデジタル化:

小学校向けプログラミング教室の実施(令和5年度)

矢吹小…14回 善郷小…23回 中畑小…4回 三神小…12回

- 誰一人取り残されないための取組:

スマートフォン操作教室

令和4年度…2回開催、計27名参加 令和5年度…2回開催、計27名参加

これまでのDX ～ 第2次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ①

- BPR、業務改善の実施：

自治体基幹業務システムの標準化・共通化…18業務の移行実施済

ICT活用による業務効率化…内製化によるシステム数63件（令和8年2月末時点）

- オンライン相談システム導入・運用：

24時間365日、医師に健康・医療の悩みを相談できるアプリを導入…令和7年度相談件数 394件

- スマート農業技術の導入・運用：

農地パトロール対象農地…令和6年度比 13,700筆（約7割）減

農地パトロール実施日数…令和6年度比 19日（約2割）減

農地パトロール実施回数…令和6年度比 38回（約2割）減

- 見守りサービス推進プロジェクト：

子ども見守りGPS購入（通信費含む）、実証…令和7年度にGPSを20基購入

これまでのDX ～ 第2次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ②

- 住民サービスのオンライン化推進:

オンライン手続等が可能な業務…17業務(令和8年3月末時点)

例:水道給水装置使用開始(停止・変更)届、保育園入園申請、児童クラブ土曜利用申込、キャンプ場予約、工事等請負有資格者名簿、矢吹町指定給水装置工事事業者名簿、水道料金納入証明書発行依頼書

- AI活用型オンデマンドバスの普及促進:

「のるーと矢吹」を通年運行…年間総乗客数5,629人、1日平均23.3人、
登録者748人(令和8年3月末時点)

- 教育のデジタル化:

小学校向けプログラミング教室の実施(令和6年度～令和7年度)…4校合計 107回実施
子ども向けデジタルイベント(令和6年度～令和7年度)…12回開催、計179人参加

- 誰一人取り残されないための取組:

スマートフォン操作教室(令和6年度～令和7年度)…計56人参加

矢吹町

これまでのDX

ここからのDX

これからのDX ～ 第2次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ①

• 行政DX:

さらなる業務効率化及び生産性の向上を実現し、住民サービスの質と職員の働きやすさを両立する持続可能な行政基盤の構築を目指す。これらの取組みにより、新たに生み出される時間や費用、人的資源といった余力を、住民一人一人に寄り添った温かみのある「face to face」の対面サービスに再配分する。具体的には、次のとおり。

AI活用 (AX: AIトランスフォーメーション):

- ・全職員が生成AIを活用できる環境の確保
- ・機密性をはじめとするセキュリティ対策を記載したガイドラインの随時改訂



※当画像はAIのGeminiで生成されたものです

これからのDX ～ 第2次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ②

・ 地域DX:

これまで構築してきた、町公式LINEやSNS等のコミュニケーション手段を起点とし、子ども子育てサービスのさらなる充実を図るほか、引き続き見守りサービスの導入に向けた取組を実施するなど地域の安心・安全・交流促進のための支援を継続する。具体的には、次のとおり。

ポイントサービス

(福島県データ連携基盤との接続):

県の「ポイント管理アプリ」を活用し、町のデジタルサービスでポイントを貯めて、活用できる仕組みを構築する



※当画像はAIのGeminiで生成されたものです

これからのDX ～ 第2次 デジタル田園タウン構想事業基本方針 ～

主な取組 ③

• 地域DX:

これまで構築してきた、町公式LINEやSNS等のコミュニケーション手段を起点とし、子ども子育てサービスのさらなる充実を図るほか、引き続き見守りサービスの導入に向けた取組を実施するなど地域の安心・安全・交流促進のための支援を継続する。具体的には、次のとおり。

見守りサービス:

- ・現状の実証実験(子ども向けの見守り)の結果を踏まえ、高齢者向けの運用可能性(行方不明防止のための見守り)も検討



※当画像はAIのGeminiで生成されたものです